



マテリアリティ 安定した収益と経営基盤の強化

リスクマネジメント

基本的な考え方

三機工業グループは、「統合リスク管理規程」に基づき、当社グループの事業活動におけるあらゆるリスク（事業中断リスクを含む）および機会を網羅的に特定・評価・対応・監視し事業の継続性およびレジリエンス（回復力）を確保するための統合的な管理体制とプロセスを構築しています。

- リスクマネジメント
<https://www.sanki.co.jp/sustainability/governance/risk-management/2026>
- 有価証券報告書第102期
(自2025年4月1日
至2026年3月31日)
https://www.sanki.co.jp/ir/library/doc/securities_R7-4q.pdf

統合リスク管理体制

統合リスク管理委員会

2026年4月よりリスク管理(ERM)と事業継続マネジメントシステム(BCMS)を統合し、経営層、事業部門長、各リスクを主に担当する部署の代表で構成された「統合リスク管理委員会」による当社グループの事業活動におけるあらゆるリスク(事業中断リスク含む)に対応する体制を構築しました。これは、当社グループの戦略目標達成を阻害するあらゆるリスクと、事業中断を引き起こすリスクを統合的に特定・評価・対応することで事業継続性を確保し、ひいては戦略目標の達成に貢献することを目標としています。情報集約、優先順位付け、リソース配分の最適化を通じて、より迅速かつ的確な意思決定を可能にします。

統合リスク管理委員会では、リスクの顕在化の予兆モニタリングやグループのリスクマネジメント上共有すべき情報、全社横断的対応が必要なリスクのコン

ロールに関する事項を審議しています。審議結果は取締役会へ報告され、取締役会では統合リスク管理体制の妥当性・重要リスクのコントロールの有効性を検証しています。

統合リスク管理委員会の構成と役割

統合リスク管理委員会*	
構成	委員長 代表取締役社長
	委員 経営会議メンバー、事業部門長、各リスクの担当部署の代表、内部監査室長、常勤監査役(オブザーバー)
役割	●重要なリスクのモニタリング、コントロール案の策定 ●リスク顕在化の予兆モニタリング
開催時期	原則として四半期に1回および必要時
2025年度の主な審議事項	●全社の重要リスクの洗い出し ●リスク顕在化予兆モニタリング結果 ●リスク情報の早期共有について ●リスク管理(ERM)とBCMSの統合運用について

※2025年度はリスク管理委員会として実施

統合リスク管理プロセス

統合リスク管理プロセスは、PDCAサイクル(年間計画、計画実行、教育・訓練、有効性測定・内部監査、マネジメントレビュー・有効性評価、是正・改善)に基づき実施されます。

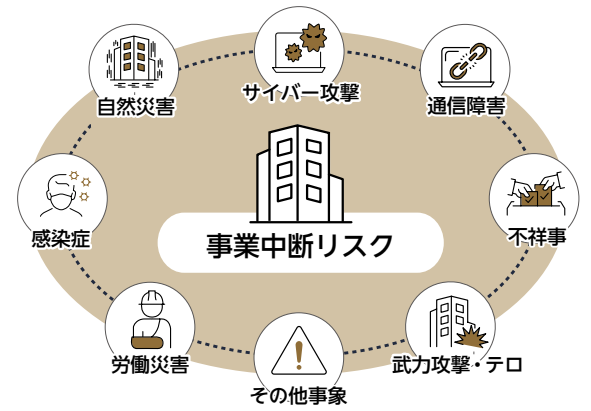
事業継続マネジメントシステム(BCMS)

事業中断リスクに対する備えとして、グループ一体となり、有事の際に関係者の安全を確保するとともに、事業を継続し被害を最小限に抑えるための事業継続計画(BCP)を策定し、このBCPの実効性を維持・向上させるための仕組みである「事業継続マネジメントシステム(BCMS)」を2022年度から運用していますが、このBCMSも統合リスク管理体制の重要部分として継続実施されています。

BCMSについても年間計画に基づき、PDCAサイ

クル(事業影響度分析、教育、訓練、内部監査、マネジメントレビュー、見直し・改善)により実施され、また統合リスク管理委員会によるリスク管理との連携も図られています。リスクアセスメントと事業影響度分析(BIA)を実施し、リスクが顕在化した際の影響を評価しBCPに反映させることで、実効性を確保しています。

なお、迅速な事業継続体制確立に向け、基本的な対応方針を記載した「事業継続計画(BCP)〈共通版〉」を基に、「自然災害」「感染症」「労働災害」「サイバー攻撃」「武力攻撃・テロ」「不祥事」「通信障害」の7つの事象およびそれ以外の事象をも網羅した「リスク別対応の手引き」を定め、2023年度より国内グループ会社全体で運用しています。また役員・従業員へのBCMS教育、定期的な訓練、備蓄品の充実化なども継続的に行っています。



海外リスクマネジメント

海外リスク担当部署と統合リスク管理事務局が連携して、リスクの分析や危機対応策の立案・管理を行っています。2014年度に「海外危機管理マニュアル(本社・海外拠点向け)」および「海外安全対策マニュアル(帯同家族を含む海外勤務者、出張者向け)」を制定し、海外勤務者の安全確保に努めています。2021年度からは現地スタッフを対象とした教育も実施し、リスクマネジメント強化に取り組んでいます。2025年度は、2024年度から引き続き上海*で感染症を想定したBCP訓練を実施。また、タイ*では自然災害を想定したBCP訓練を実施しました。

*三机建筑工程(上海)有限公司、Thai Sanki Engineering & Construction Co., Ltd.

海外 危機管理 マニュアル	●海外で危機が発生した場合の本社・海外拠点の対応ルール・手順 ●身体生命に関するリスク、法令違反・マスコミ対策・訴訟関連等
海外 安全対策 マニュアル	●海外勤務者等のリスク回避・緊急対応の実用的な手引 ●テロや災害発生時の行動、犯罪等の被害回避、贈収賄等の法令遵守、現地雇用の人事労務管理、宗教対応等

DX推進とセキュリティ対策

当社グループでは「DX戦略 2030」を策定し、さまざまなITツールや生成AIサービスの利活用など、さらなるDXの推進に取り組んでいます。これらを全社的に活用していくにあたり、使用データの拡大や使用する人・場所の多様化によるセキュリティリスクの高まりへの対応も重要であると考えています。

情報セキュリティへの取り組み

情報セキュリティリスク担当部署において、規則類を整備し、全社的な情報セキュリティ対策の統制、リスク管理を行っています。サイバー攻撃に備え、マルウェアなど不正プログラムの侵入や不審な挙動を常時監視し、異常を検知した際に迅速に対応できる体制を構築しています。多数の会社がかかわる施工現場のデータ保管に対するリスク対策としてクラウドサービスの活用を進めるとともに、全従業員、協力会社社員に向けて情報セキュリティに関するeラーニングによる研修や、自己点検などを継続的に実施しています。

生成AIの安全な利用に向けた取り組み

当社では、生成AIサービスの社内業務での活用を推進しています。2024年12月には、セキュリティ面を考慮した社内向け生成AIサービスの導入を行いました。これに併せて、情報漏えいや著作権侵害など、使用時のリスク対策として、生成AIサービス利用時の注意について情報セキュリティ対策ガイドラインの改定を行いました。

また、生成AIサービスの特性を理解し、適切に利用できるようにするため、使用による危険性や適切な使い方について、全従業員を対象としたeラーニングによる研修を行い、コンプライアンス意識の醸成を図っています。